

学校名 熊谷市立大原中学校
所在地 熊谷市大原3-4-1
電話 048-521-0049

1 本校の概要

本校は、熊谷市のほぼ中心部にある伝統校である。校区内はほぼ住宅街・商店街であり、保護者の学校への関心も高い。

図書室は校舎一階の昇降口すぐ脇にあり、約13,000冊の豊富な蔵書を誇る。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・ 言語活動の充実など学力向上に結び付けた取組
- ・ 学校図書館等の環境整備の工夫

(2) 実践の概要

ア 「本のポップ作り」

(1年国語「読書教材」との関連)

- ・ 「ポップ」は本をPRする素材として「帯」とともに効果的なものである。そこで、これを夏休みの課題とした。

提出されたポップの優秀作は図書室内のその本の近辺や机、本棚の上などに掲示し、長く見てもらえるようにした。また、廊下にも掲示した。これらのポップから、「この本を借りたい」などの申し出が増え、図書室利用の意欲が喚起された。



イ 「図書室の整理と見出し作り」

- ・ 本校の図書室は古くて利用されていない本も多く、書棚はパンク寸前であった。また、利用したい本がどこにあるかわかりにくい状況であった。そこで、次のような対策を行った。
- ・ 本の購入年度や状況（汚れ、破損）を見て、利用に堪えない本の廃棄を積極的に行った。
- ・ 蔵書数の多い「文学」の本については、アイウエオ順に見出しを作り、すぐに検索できるようにした。

この結果、図書室全体が明るい雰囲気

になり、目的の本を探しやすくなった。



3 成果と今後の課題

(1) 成果

ポップの掲示と整理整頓によって明るく利用しやすい図書室になり、利用が増えた。

(2) 課題

本校図書室の豊富な蔵書と生徒を近づけ利用を増やすために、次のような取組を進める。

ア 蔵書に関連したポップや帯を生徒に作成させる。(夏休み恒例の課題とする。)

イ 生徒から希望が出た図書は、原則として全て購入する。

ウ PTAと連携して保護者への図書貸し出しを推進し、親子で本に関する話ができるようにする。

(3) おわりに

「生徒のための図書室」をこれからも念頭において、図書館補助員さんや図書委員、先生方、PTAの方々と連携していきたい。